

## 令和2年度 農林水産業版タウンミーティング（水産業版）会議概要

日 時：令和3年2月2日（火）15：00～16：30

場 所：青森市北部地区農村環境改善センター 会議室

参加者数：8名

市側出席者：市長、農林水産部長、環境部長、農林水産部次長、環境部次長、  
水産振興センター所長、清掃管理課長

### ■昨年度いただいたご意見への対応状況

⇒ 配付資料のとおり

### ■主なご意見・要望等

○ 久栗坂漁港が、近い将来、県から市へ移管されると聞いているが、移管後、漁業者にとって何が変わり、どういう影響があるのか。

⇒ 久栗坂漁港は、所在市町村が本来管理する第一種漁港となっており、県の整備事業が終了し次第、市に移管される見込みとなっている。県の整備事業は、令和3年度には完了する見込みであり、その後、2年間の移行期間を経て市へ移管となる予定と県から伺っている。

市への移管に伴い、漁港施設の占用許可や施設の補修、維持管理等、これまで県が担っていた業務をそのまま市が実施することとしており、漁業者の皆様には、移管前と同様に漁港を使用いただけるものと認識している。市が管理者となった後も、漁業者の皆様から施設に関するご意見をお聞きしながら、維持管理等に努めていく。

○ 久栗坂漁港では、現在、11隻の船が横付けしている。今後、船の大型化に備え、2隻分程度の着岸スペースをあらたに設けていただくよう、これまで県に要望してきたが、県からの回答は、工事の進捗上、現時点では難しいとの話だった。市に移管後は、ぜひ船の着岸スペース増設について検討いただきたい。

⇒ 市への移管後、増設できるかについて、現段階でお答えするのは難しいものと考えている。漁港整備については、今後も市、漁協とで協力しながら、県に要望してまいりたい。

○ 今まで振興センターの協力で、稚ナマコ、ホヤ種苗、ワカメ種苗の放流等で組合運営や組合員の経営には多大な貢献を担ってきた。しかしながら、振興センターの縮小が懸念されていることから、どうか今後も事業継続をしていただくようお願いしたい。

⇒ ナマコの種苗生産は、平成6年度に「ナマコ種苗生産施設」としての業務を開始して以来、毎年度、本市管内の海域に放流をおこなっており、資源の維持に努めてきた。今年度は、計14万1,500個の稚ナマコを放流したところ。

陸奥湾産マボヤについては、現在、後潟漁業研究会及び青森市漁業研究リーダー会とともに、中間育成試験を行っており、今後も連携、協力しながら育成試験に取り組んでいく。

ワカメについては、第2培養棟の老朽化により、FRP水槽を活用した種苗生産にも取

り組んでいるところであり、今後も様々な生産方法等を模索しながら、種苗供給を続けていく。

かつてのホタテガイの高水温被害の経験から、ナマコ、ホヤ及びワカメは本市水産業の経営安定にとって大変重要な魚種と捉えており、今後も、水産振興センターではこれら魚種の安定生産が続くよう機能維持に努めてまいりたい。

- ホタテの水揚げ時に残渣が発生するため、青森市の一般廃棄物最終処分場に毎日、運び入れているが、土曜日の開場時間が午前 11 時 30 分で終了するため、日曜日の分を含め月曜日まで大量に保管しなければならない。一日に運搬できる量は限られているため、火曜日又は水曜日に持ち越すケースもある。近隣住民から悪臭等の苦情が寄せられることがあるので、土曜日の開場時間を延長できないか。

⇒ 青森市一般廃棄物最終処分場の開場時間については、条例、規則により、月曜日から金曜日までは祝日を除き、8時30分から16時まで、土曜日は8時30分から11時30分までとしているが、現在は、本年5月に発生した青森市清掃工場の火災に伴い、市民サービスを維持するため、開場時間を青森市清掃工場に合わせ、月曜日から土曜日まで祝日も含め8時30分から16時30分に延長している。

土曜日の開場時間を毎週16時30分までとする場合、年間約4百万円の指定管理料の増額が必要となる一方、土曜日午後のホタテ養殖残さの最終処分場への搬入実績は、現在のように清掃工場の火災により開場延長している中でも、年間で平成30年度が4日間で8台、令和元年度が5日間で5台、今年度が12月末までに5日間で5台という状況となっている。

このことから、現時点で土曜日午後の開場延長は難しいと考えているため、今後においても、貴組合において計画的な搬入と、適切な保管をお願いしたい。

- ホタテ養殖かごを処分する際は、十和田まで運搬する必要がある等、費用が高く、困っている。養殖かごの処分施設を国、県、市の補助等により、東青地区に作ってもらえないものか。

⇒ 産業廃棄物の処分は、民間の方が民間の方に処分をお願いするということに法律上なっており、処分施設の補助ということは難しいものと思うが、これまで、青森県産業廃棄物協会とも意見交換を様々してきた経緯があり、処分方法についての新たな情報が入る等したら、情報提供してまいりたい。

- 後潟漁港内が、県のドクターヘリの着陸場所になっている。漁港内の除雪は後潟漁協で行っているものの、今冬の大雪により、除雪費用も底をつき、溜まっている雪の影響で、漁具の運搬等にも支障が出ている。市で除雪の対応はできるのか。

⇒ 漁港につながる道路等を市が除雪をできるかどうかについて、担当課に相談してまいりる。